

宇宙港事業を沖縄県下地島空港にて展開 『宇宙に行ける島、下地島』 アジア初、有人・宇宙旅行の拠点化に向け県と基本合意

PDエアロスペース株式会社(本社:愛知県、代表:緒川修治)は、沖縄県の「下地島空港及び周辺用地の利活用事業」にて、宇宙港事業を展開することをお知らせ致します。今後、有人・宇宙旅行の実現に向けて、機体開発と並行して、宇宙港の整備にも取り組んで参ります。



下地島宇宙港イメージ

空撮画像提供:三菱地所株式会社

弊社は、沖縄県が2017年に公募した「下地島空港及び周辺用地の利活用事業提案」に対し、「下地島宇宙港事業」(以下、本事業)を提案し、9月10日、県と基本合意に至りました。

下地島空港は、3,000m長の滑走路、高度な航空管制機能が備わっていることに加え、南北に訓練空域を保有、東アジアを中心としたグローバルな客層への地理的優位性を有するなど、宇宙港の適地として高いポテンシャルを有しています。

本事業では、これらの下地島空港の特徴を活かし、宇宙飛行機の飛行試験をはじめ、①宇宙機用ハンガー(格納庫)を用いたテナント事業(対象:国内外問わず各国の企業)、②宇宙旅行に対応する訓練事業、③観光事業を展開していく計画です。

事業実施は、弊社を中心に「下地島宇宙港事業推進コンソーシアム(仮)」を設立し、当該事業に関心のある幅広い事業者様と連携し、段階的に展開させていきます。当該地域の発展に貢献すべく、沖縄県および宮古島市をはじめとした地域機関の皆様と相互に協力、連携して参ります。

我が国の宇宙開発拠点のみならず、多種多様な事業関係者の皆様と共にビジネス展開の拠点として、「宇宙に行ける島、下地島」の実現、発展を目指します。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

PDエアロスペース株式会社 企画渉外Gr. 担当:尾畠

TEL 0566-95-8228

E-mail info@pdas.co.jp

平日) 9:00~18:00、土日) 休み